



いっちょかみ
“一丁啮” が行く！

第59回：ある町のお話

ある町のお話です。その町ではなかなか運転免許が取れない一団が毎日、自動車教習所の中で運転の練習をしていました。町の中を自由に走り回っているクルマを見て羨ましく思い、いつかきっと町の中を自由に走り回れることを夢見て練習に励んでいました。

町の中を走っているクルマの中には、スピード違反するものとか、信号無視をするものとかも多く、町の人々からはもっとちゃんとしたまともな走り方をして！という声が高まり、安心・安全な町づくりへの議論が活発に行われるようになりました。

そんな中で、常々『僕らに免許を与えてくれれば、横着な運転はせず、しっかりと交通ルールを守って、安心・安全な町づくりのための運転をします！』と言っていた自動車教習所で真面目に練習している人達に、運転免許を与えて町の中を走れるようにしてあげようということになり、やっと彼らに運転免許証が交付されました。

満を持して町中を走れるようになった連中は、今までの様な走り方はしない、暴走族もどきの様な乱暴な運転や交通ルール無視の横着な運転はしない！と、慎重に走り始めました。制限速度を守り、一時停止の所はしっかりと止まり…と安全運転を心掛けました。しかしながら、なにしろ町の中を走るのは初めてです。教習所の中から見ていたら通れると思っていた細い道の前まで来て、通り抜けられないことが判り、バックしようにも後ろから来たクルマにブーブーと鳴らされ、右往左往することもしばしば。制限速度をちゃんと守って走ったせいで、あちこちで渋滞を引き起こし、タクシーやバスなどのプロのドライバーからは疎ましく思われクラクションであられる始末。

やがて町の人々からは、「安心・安全な町づくりをするために、まともな運転をしてくれることを期待して、なかなか免許が取れなかった教習所の人達に免許を与えて走り出してもらったのに、あちこちで渋滞は起こすわ、鈍くさい運転でイライラさせられるわ、通れると行ってた道が通れなかったりするわで、まったく期待外れ！」との声が大きくなりました。拳げ句の果てには、「嘘つき！」と呼ばれる始末で、町の中は大混乱に陥りました。

そんな時、町はずれからバイクに乗った集団が現れました。大型バイクのハーレーに颯爽とまたがった老人を先頭に威勢のいい若者たちが現れました。『教習所でしか練習していない人達では実態に即した走りではできない。僕たちは地方の町で何年も走ってきて、スムーズに走る走り方を知っている。タクシーなどのプロのドライバーにもゴジャゴジャ言わせない町づくりができる』と。

町の人達は戸惑いました。少しの暴走行為や交通違反があっても、それなりに交通がスムーズに流れていた時のように、昔から走っている人達だけの町に戻した方がいいのか、それとも、モタモタしているとは言え、以前より安心・安全な町づくりが徐々にできつつあることを認めて、教習所からきた人達がもう少しうまく運転ができるようになるまで長い目で見た方がいいのか、いっそのことよその町から来た威勢のいいライダーに任したらいいのか……。

結論を出さなければならない日は迫っています。町の人達はどんな選択をするのでしょうか。

ごぞんじでしたか？

最近の通信事情

LTE Long Term Evolution の略で、携帯電話の新たな通信規格のことです。今までの 3G より更に高速化され、下りが 100Mbps 以上、上りが 50Mbps 以上の通信速度を条件としており、家庭用のブロードバンド回線にほぼ匹敵する高速データ通信が可能となります。最近の携帯（スマホ）は LTE に対応していますが、LTE の基地局がまだ十分でない地域もあり、3G と LTE を自動的に切り替えるようになっているようです。



テザリング テザリングとは携帯電話会社の通信網を利用して、パソコンやタブレット端末などをインターネットに接続する機能のことで、スマートフォン本体を無線 LAN ルーターの親機として利用できるようになります。



外出先でノートパソコンなどをインターネットに接続させるためには Wi-Fi 環境のある公共施設やカフェなどに行くか、イーモバイルなどのモバイル Wi-Fi ルーター（ポケット Wi-Fi）など持ち歩かしなければならなかったのですが、常に持ち歩いている携帯電話（スマートフォン）が Wi-Fi ルーターになるので、いつでもどこでもインターネットが使える環境が整うことになります。NTT ドコモや au が一部の Android 端末でそのサービスを提供してきましたが、最近発売された iPhone 5 でも使えるようになりました（SoftBank は来年 1 月 15 日から）ので注目を集めています。

読者訪問



第35回

お伺いした会社	株式会社 フジデン
お目に掛かった方	代表取締役 藤村 康宏 さん
会社の所在地	〒573-0164 大阪府枚方市長尾谷町1丁目105番地11
主な業務内容	電気工事、家電配送・取付
連絡先など	TEL:072-836-0118 FAX:072-836-0138
e-mail	info@fuji-den.co.jp
URL(HPアドレス)	http://www.fuji-den.co.jp/

今回は株式会社フジデンの藤村社長をお訪ねしました。藤村社長とは、日本共育プロジェクト京都後援会(※)の活動の中でお知り合いになりました。そして、各方面で活躍されている藤村社長の会社を一度お尋ねしたくなってお伺いいたしました。



藤村社長

正面ドアを入ったらウエルカムメッセージが掲示されていました。これは以前お伺いしたジョイナスさんでもしていただいたサービスで、ジョイナスさん同様社員教育が行き届いていることがうかがえました。(ジョイナスさんの読者訪問記事は2012年10月発行第58号をご覧ください)

藤村社長は若いとき夜間高校に通いながら友禅職人をされていたそうです。そして近所の引越し屋さんの手伝いなどをやりながら引越業として独立。クーラーの移設などをやる中で、電気工事の方に舵を切り、平成5年に現在の会社を創業されました。

大手家電量販店の配送/工事を担い、東京から山口県までの広範囲なエリアで事業を展開されています。

たいへん勉強熱心な方で、特に経営に関してはドラッカー理論やチェーンストア理論に精通しておられ、大手家電量販店の成長と共に規模も業績も右肩上がりです。現在、700名超のスタッフを抱え、多い日は一日に1,000台以上のクーラーの設置をされるということです。なんとすごい量ですね。さらに最近では、ソーラーパネルの設置にも力を入れておられ、時流に乗っての成長も見込まれます。



本社社屋

また、電材や電動工具の買い取りセンターを今年枚方の国道1号線沿いにオープンされ、先月末には伏見店をオープンされました。(http://www.den-zai.jp/)

帰り際には社員の方々共々、駐車場までお見送りいただきありがとうございました。常に勉強しながら確かな経営理論をもとにそれを実践し、着実に成長を続けておられるフジデンさんに学ぶところは多いと刺激を受けながら帰路につきました。ますますのご発展を祈念しております。



見送っていただいた社長と社員の方々

(※)日本共育プロジェクト京都後援会……

関西京都今村組の今村氏が「今こそ、『共育』を!!日本の子どもたちに生きる意味を!そして、東日本の子どもたちに輝きを!!」という理念で立ち上げた一般社団法人日本共育プロジェクト (http://www.nihonkyoiku.com/) の活動を支援するために、(株)五健堂の運尾社長の呼びかけで京都の経営者が中心となって活動している後援会

犬も歩けばサポート日記



事例をご紹介しているコーナーです。シスポートのサポート担当者の奮戦記からなにかヒントを得ていただければ幸いです。

今日の相談



サーバーを置いて複数の端末で「はんばいQ」を運用いただいているお客様からご相談がありました。最近、ファンの音が気になるそうです。以前埃が原因で電源部が壊れ出張修理を依頼した経緯もあるのでご心配のようです。しかしこういうご時世なので慌てて買い替えるというのも... 変な話ですが何かメリットのある提案をすればこの話は進むと思うのです。

ということで“ターミナルサービス”を利用したシステム構築のご提案をさせていただきました。通常は端末のパソコンにソフトをインストールしてサーバー上のデータベースに接続を行います。ターミナルサービス環境下ではソフト自体もサーバーに入れます。端末のパソコンはサーバーの画面に接続する設定を行うのみです(これはWindowsの標準機能に用意されています)。メリットをまとめると...

- (1) 端末のパソコンが壊れても安心 → ソフトの再インストールが不要なので代わりにパソコンを買ってくればOK
- (2) 古いパソコンでも快適 → サーバーで動作しているので手元のパソコンが古くても十分耐えられます。ソフトの入替に伴って端末を入替する必要もありません
- (3) 利用範囲も広がる → ターミナルサービスは同時使用ライセンスみたいなものです。端末が何台あっても同時に使用する上限以内なら利用できるようになります

今日のご提案



なるほど。まあ順当な提案でしょう。さらに付け加えれば (4) サーバー内に保護されるのでセキュリティも高い (5) インターネット網を介して本支店接続などをすることもあまり速度が気にならない 等の利点もあると思います。世の中クラウドが流行りですが基幹システムのデータが外部に流れていることには何か抵抗がありますよね。そういった意味ではこれは“社内クラウド”とも言えるものだと思います。投資効果も高いと思うので是非プッシュしてください。

今日の所感



※後日談 提案をさせていただいた結果、大いに納得いただいてご注文をいただきました。何故かあまり知られていない“ターミナルサービス”ですが大きな問題もないですし...。ま、OSメーカーにしたらあまり声を大にして宣伝すると自分の首を絞めることになるのかもしれませんが...。

